

|| 企業調査レポート ||

ネクシィーズグループ

4346 東証 1 部

[企業情報はこちら >>>](#)

2018 年 6 月 21 日 (木)

執筆：客員アナリスト

角田秀夫

FISCO Ltd. Analyst **Hideo Kakuta**



FISCO Ltd.

<http://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 業績動向・今後の見通し	01
■ 株主還元策	04
■ 成長戦略・トピックス	05
1. ネクシィーズ・ゼロシリーズの商材拡大	05
2. 3D スマホクレーンゲーム「神の手」の成長、海外展開	06

■ 業績動向・今後の見通し

2018 年 9 月期第 2 四半期は 主力のエネルギー環境関連事業が成長をけん引

ネクシィーズグループ<4346>の2018年9月期第2四半期の連結業績は、売上高で前年同期比4.0%増の8,002百万円、営業利益で同13.5%減の895百万円、経常利益で同25.1%減の943百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で同60.6%増の1,347百万円となった。連結子会社の譲渡とゲーム事業への積極投資が背景にあるため業績が捉えにくいのが、主力事業が力強く成長しており、順調な業績と評価する。

売上面では、2017年11月に経営資源の集中を目的に(株)ハクビ(文化教育事業、前年同期の売上高は1,058百万円)を売却した減収要因があったにも関わらず、既存事業(エネルギー環境関連事業、電子メディア事業)が引き続き高い成長を見せ、ハクビを除いた既存事業だけで20.6%(対前年同期比)の増収、ハクビを含めたグループ連結でも増収となった。好調な要因は、主力事業であるエネルギー環境関連事業の売上高が前年同期比で28.7%増(1,451百万円増)と成長をけん引し、LED照明や厨房・店内設備機器を初期投資オール0円で導入できる「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」が伸びの原動力になった。特に業務用空調、業務用冷蔵庫、食器洗浄機などLED以外の商材が著しく伸び、商材構成比で25.3%(前年同期は16.7%)となった。なお、ブランジスタ<6176>(電子メディア事業)も前年同期比2.2%の増収となった。

営業利益が減益となったのは、3Dスマホクレーンゲーム「神の手」を主としたブランジスタの広告宣伝費471百万円を先行投資したことが主な要因である。仮に、この先行投資がなかった場合の営業利益は1,366百万円であり、前年同期比32.0%増(ハクビ売却の影響を除いた場合に前年同期比37.7%増)となるため、既存事業の収益力はむしろ大きく上がっている。

2018年9月期通期の連結業績は、売上高で前期比2.8%増の16,500百万円、営業利益で同2.2%増の2,100百万円、経常利益で同7.5%減の2,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で同18.8%増の2,100百万円の見込みである。引き続きエネルギー環境関連事業において、「ネクシィーズ・ゼロシリーズ」の販売に注力。営業人員の増強、地域に密着した金融機関(福邦銀行)との販売パートナー契約、2017年9月に参入したネクシィーズ電力とのセット提案などにより営業を強化する。

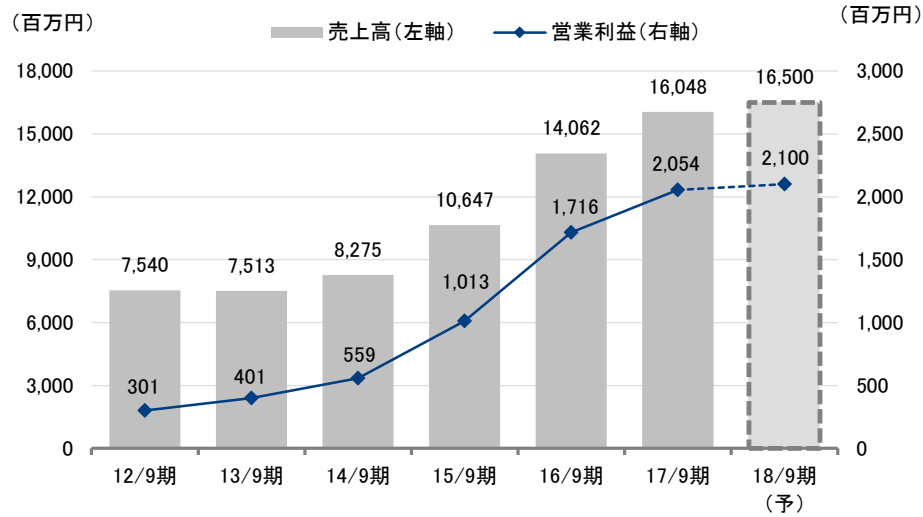
売上高の上期進捗率は48.5%(前年同期は46.6%)であり順調である。営業利益の上期進捗率は42.6%(同50.4%)となっているが、これは上期のゲーム事業への戦略投資が要因であり一過性である。

来期2019年9月期以降の見通しについては、これまでの既存事業の成長性や、成長に向けた諸施策の展開などから、過去最高売上をさらに更新して推移となるものと弊社では見ている。収益に関しては、既存事業の収益力により前期と同様に過去最高益を確保しつつ投資も継続することになるだろう。その点で、2018年9月期通期の計画達成が注目される。

ネクシーズグループ | 2018年6月21日(木)
 4346 東証1部 | <https://www.nexyzgroup.jp/investor/>

業績動向・今後の見通し

通期業績の推移



出所：決算短信よりフィスコ作成

2018年9月期第2四半期業績

(単位：百万円)

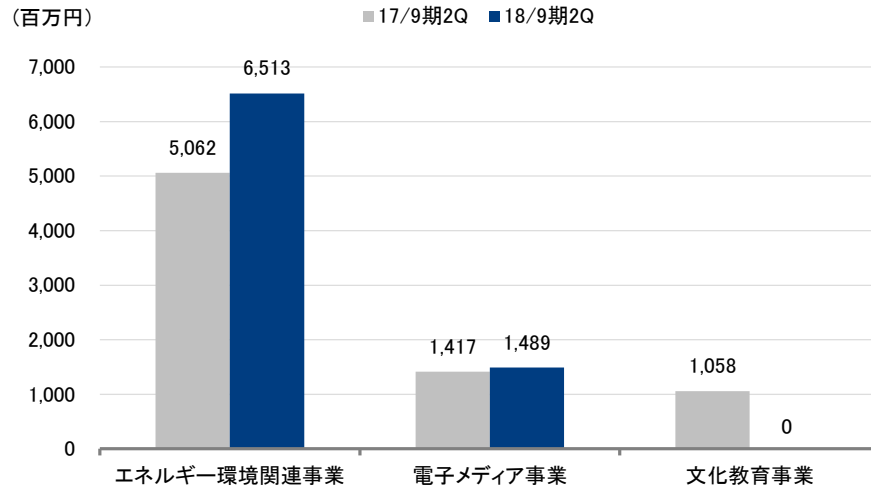
	17/9期 2Q		18/9期 2Q		前年同期比
	実績	対売上比	実績	対売上比	
売上高	7,694	100.0%	8,002	100.0%	4.0%
売上原価	3,987	51.8%	3,873	48.4%	-2.9%
売上総利益	3,707	48.2%	4,129	51.6%	11.4%
販管費	2,672	34.7%	3,234	40.4%	21.0%
営業利益	1,035	13.5%	895	11.2%	-13.5%
経常利益	1,258	16.4%	943	11.8%	-25.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	838	10.9%	1,347	16.8%	60.6%

出所：決算短信よりフィスコ作成

ネクシーズグループ | 2018年6月21日(木)
 4346 東証1部 | <https://www.nexyzgroup.jp/investor/>

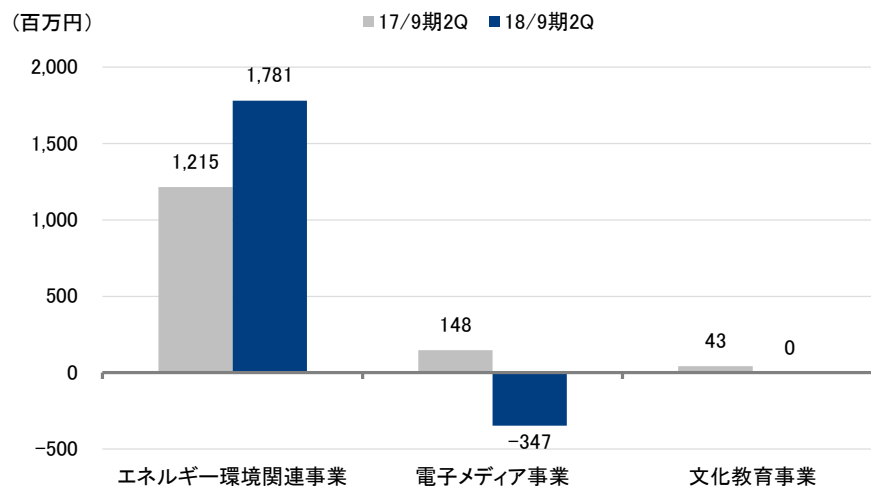
業績動向・今後の見通し

セグメント別売上高



出所：決算短信よりフィスコ作成

セグメント別営業利益



出所：決算短信よりフィスコ作成

2018年9月期通期業績予想

(単位：百万円)

	17/9期		18/9期			
	実績	対売上比	予想	対売上比	前期比	2Q 抄率
売上高	16,048	100.0%	16,500	100.0%	2.8%	48.5%
営業利益	2,054	12.8%	2,100	12.7%	2.2%	42.6%
経常利益	2,269	14.1%	2,100	12.7%	-7.5%	44.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,767	11.0%	2,100	12.7%	18.8%	64.2%

出所：決算短信よりフィスコ作成

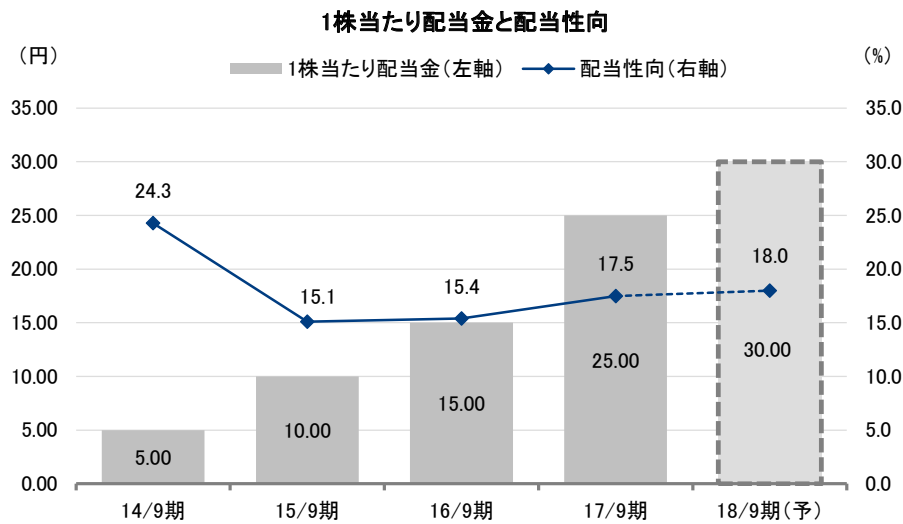
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読みください。

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

■ 株主還元策

2018 年 9 月期は年間配当 30 円（中間 15 円、期末 15 円）、 4 年連続増配を予想

同社は株主還元策として配当を実施している。成長のための投資と株主への適切な利益還元をバランス良く行う方針である。2018 年 9 月期の 1 株当たり配当金は中間 15 円、期末 15 円、合計 30 円（前期比 5 円増配）、配当性向 18.0% を予想しており、4 年連続の増配となる。



出所：決算短信よりフィスコ作成

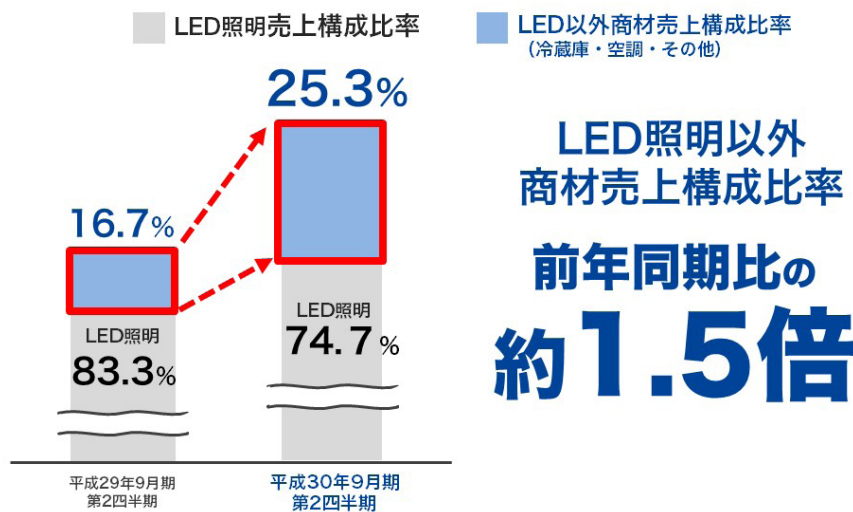
■ 成長戦略・トピックス

LED 以外の商材の比率が 25% 超え、 業務用空調は前年同期比約 5 倍の成長

1. ネクシーズ・ゼロシリーズの商材拡大

LED 照明で始まった同社の初期投資オール 0 円で導入できるレンタルサービス「ネクシーズ・ゼロシリーズ」は LED 照明も伸びているものの、LED 以外の商材（冷蔵庫、空調など）の成長が上回り、構成比で 25.3%（2018 年 9 月期第 2 四半期、前年同期は 16.7%）に達した。特に伸びが大きいのが業務用空調設備であり、約 5 倍の伸びを記録した。空調は店舗の電力消費の約 46%（飲食店の夏季ピークにおける電力消費比率、資源エネルギー庁推計）を占め省エネを行う上で重要な設備。同社では冷蔵庫などの厨房機器等を含めてほぼ 100% の電気を使う設備をレンタルサービスでカバーする。その他の商材は、顧客の要望から広がってきた経緯がありニーズは堅い。また契約の 50% が導入店舗からの紹介経由であるという実態からも満足度の高さがうかがわれる。顧客数の増加と商材の拡大の 2 軸での成長はしばらく続きそうだ。

商材別売上構成比率



出所：決算説明会資料より掲載

TVCM が奏功し 3D スマホクレーンゲーム「神の手」が 180 万 DL 超え、海外展開は台湾・タイから本格始動

2. 3D スマホクレーンゲーム「神の手」の成長、海外展開

ブランジスタの子会社（株）ブランジスタゲームが 2016 年 6 月にリリースした「神の手」は、秋元康（あきもと やすし）氏が総合プロデューサーを務める、スマートフォンで行う 3D クレーンゲームである。プレミアム景品や様々なコラボ景品を獲得するとユーザーの自宅に届くという、世界初（特許出願中）の遊び体験を提供する。2017 年から 2018 年の年末年始と 2018 年 3 月に初のテレビ CM を実施し、お笑いタレントの出川哲朗、女性アイドルグループ乃木坂 46 の白石麻衣を起用したユーモラスな CM は大好評となった。結果として、2017 年 12 月時点の 60 万ダウンロードから 2018 年 3 月末時点では 180 万ダウンロードとなり、約 3 倍に飛躍した。

これまでのプロモーション



2017～2018の年末年始と2018年3月に、テレビCMを実施
180万DL以上を獲得し、昨年末の約3倍に拡大

出所：決算説明会資料より掲載

収入モデルは、ユーザー課金モデルと広告モデルの 2 種類。ユーザー課金モデルの場合には、希少な“神景品”を目当てにユーザーは 1 プレイ約 100 円からゲームにチャレンジできる。バーチャルで遊び、リアルで景品を獲得して楽しむという新しいタイプの体験を提供している。特にアイドル関連の商品やサービスに強みがあり、ここでしか手に入らない企画が断続的に提供される。広告モデルに関しては、クライアントのニーズに応じた企業 PR プランと店舗集客プランからなり、これまでに日清食品ホールディングス <2897> グループや RIZAP グループ <2928> とのタイアップ企画などが数多く実現している。

以前から「世界をつかむ」という海外展開の構想が打ち出されていたが、台湾とタイで本格始動されることが決まった。両国は、クレーンゲームの普及度、日本のアイドル文化の浸透度、物流網の整備などの基準で選定された。年内にも「神の手」をリリースする予定で準備を進める。日本初のコンテンツがどのような形で世界に受け入れられるか、その試金石となる台湾とタイでの動向に注目したい。

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ